

令和元年度

学生によるオレンジリボン運動

目白大学 実施報告書



実施主体 宇野ゼミ「オレンジャー」

実施内容 令和元年 10月学園祭、11月街頭配布、12月学童保育、Twitter 運営(通年)

①事前に取り組んだ内容

- ・森田ゆり著の「しつけと体罰」を読み学習。レジュメにまとめ、メンバー間で共有し、理解を深めた。また、それをもとに掲示物の作成を行った。
- ・街頭配布では、昨年の反省を検討し、配布場所、配布の仕方、配布者の服装を見直した。また、街頭配布をより良いものにするために「説得理論」を学んだ。
- ・学園祭のアンケートにて、子どもへの啓発が足りないという気づきを得た。
- ・「189」の存在を子ども達に知ってもらうため、基本的な情報を調べた。また、オリジナルの紙芝居と「189カード」の作成を行った。
- ・ゼミ内において広報班を編成。運営ルールの作成や目標設定、ターゲットの明確化を行った。Twitter 運営についての本を読んだ。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・学園祭では「ぴよんぴよんのおうち」というテーマのもと、親子で楽しめる空間づくりを行った。バルーンアートやキーホルダー作成等に加え、掲示物の展示やアンケート調査も実施した。
- ・街頭配布では、高田馬場駅前において配布物(自作のパンフレット・オレンジリボン・お菓子)を120セット配布した。
- ・学童保育では「189の啓発」をコンセプトに、オリジナル紙芝居の読み聞かせ、自作の「189カード」の配布を行った。また、児童たちとの交流も行った。
- ・Twitter では、活動ツイート・定期ツイート・不定期ツイートの3種に分けて、自分たちの活動や児童虐待に関するニュース、トレンドを意識したツイートを行った。
- ・Twitter 運営におけるガイドラインの作成を行い、組織的且つ継続的な運営を可能にした。

③オレンジリボン運動を終えて・・・

今年度は、学園祭や街頭配布の活動に加え、学童保育やTwitterの運営等、活動を発展させることができた。特に力を入れて活動したTwitterの運営では、多くの情報や私たちの思いを発信することができた。また、ガイドラインの作成により、組織的・継続的な活動が可能になった。さらに、「Twitterによる啓発活動」をテーマに「学生によるオレンジリボン運動 全国大会」で発表し、オレンジリボン大賞を受賞することができた。今後も目白大学らしい啓発活動をより一層頑張っていきたい。



【目白大学】<https://www.mejiro.ac.jp/>

【目白大学 ぴよんぴよん】https://twitter.com/oranger_mejiro

